

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年7月1日 ～2024年6月30日)



株式会社 一 亘

作成日:2024年9月20日

□ごあいさつ

私達は、福山市地区で社会インフラ資本の建設・保全を通して地域の安心・安全と美しい自然環境を守ることを使命と認識しています。このたび、E A 2 1 ガイドラインに基づく環境経営システムを構築・運用・維持し、社員ひとり一人の積極・誠実な行動をもって地域社会に貢献し、信頼される事業活動を行います。

環境経営方針

<環境理念>

株式会社一亘は、環境経営システム（エコアクション21）の構築と運用及び維持に取組み、本業である舗装・土木工事での設計・施工及び産業廃棄物の収集運搬での事業活動を継続的な改善活動を通じて、脱炭素化経営（地球温暖化問題）への取り組みや地域の環境保全活動に自主的・積極的に取組み地域の社会資本整備に貢献します。



<環境保全への行動指針>

- 1 課題とチャンスをつまみ、働きやすい職場と人材育成に努める。
- 2 環境関連法規制や当社が約束したことを順守する。
- 3 電力及び化石燃料消費からのCO2排出量の削減に取り組めます。
- 4 一般廃棄物と産業廃棄物の削減及びリサイクル利用に取り組めます。
- 5 節水で水使用量の削減に取り組めます。
- 6 化学物質情報を把握し適正使用管理に取り組めます。
- 7 事務用品・資材原料のグリーン購入に取り組めます。
- 8 環境配慮した施工提案及び廃棄物収集運搬に取り組めます。
- 9 地域の環境保全活動に積極的に参加します。



制定日：2015年8月20日

改訂日：2023年7月 1日

代表取締役 岡本 淳一

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 一亘
代表取締役 岡本 淳一

(2) 所在地

本社 広島県福山市南松永町二丁目17番9-2号
事務所 広島県福山市南松永町二丁目17番10-1号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工務部長 坂本 亘 TEL: 084-933-4498
担当者 総務係 岡本 展子

(4) 事業内容

舗装、土木構築物の設計・施工、産業廃棄物の収集運搬

(5) 事業の規模

法人設立 2007年9月4日
資本金 500 万円
売上高 22,900 万円 (2023年度)

	本社	事務所	駐車場等	
従業員	10 名			
延べ床面積	50 m ²	50 m ²	300 m ²	

建設現場等の概要及び件数

区分	件数
元請工事	77
下請工事	160
合計	237

受託した産業廃棄物の処理量 (2023年度)

収集運搬量	102.5 t
-------	---------

車両台数

車種	台数	備 考
8 t ダンプカー	1 台	内産廃許可車両 1台
4 t ダンプカー	3 台	内産廃許可車両 2台
3 t ダンプカー	2 台	内産廃許可車両 2台
2 t ダンプカー	1 台	内産廃許可車両 1台
作業車	2 台	内産廃許可車両 2台
合計	9 台	

積替え保管施設

・保有していない

主要施工機械設備

名 称	台 数	名 称	台 数
コンパインドローラ	2 台	タイヤローラ	1 台
アスファルトフィニッシャー	1 台	マカダムローラ	1 台
ミニバックホウ	2 台	10 t 台車	1 台

(6) 事業年度 7月～6月

□認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号 0011091

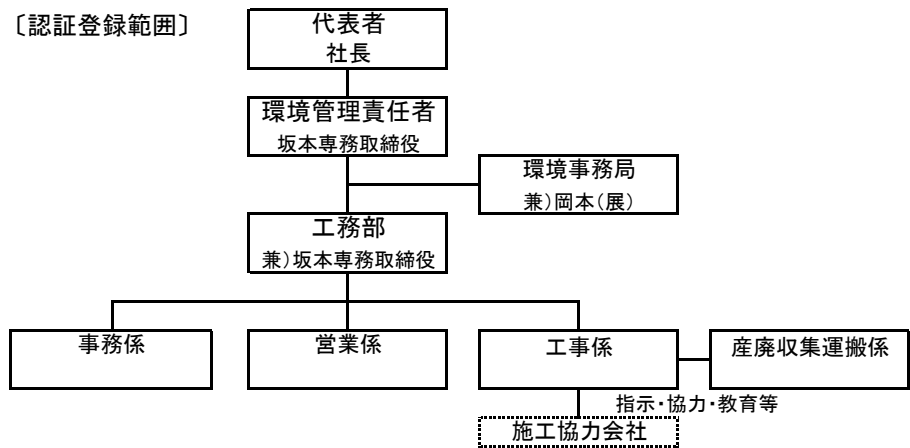
登録組織名: 株式会社 一亘

対象事業所: 本社、事務所

事業活動: 舗装、土木構築物の設計・施工、産業廃棄物の収集運搬

□組織図

〔認証登録範囲〕



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスとの明確化 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者(専務)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営計画書を確認 ・環境経営実績の確認・評価 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

建設業許可

区分	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
広島県	一般第28152号	令和4年12月11日	令和9年12月10日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい
広島県	第03407138976号	令和4年11月6日	令和9年11月5日	無		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□廃棄物処理フロー



□廃棄物処理料金

・収集運搬料金につきましては種類、重量、数量、運搬距離等の諸事情により異なりますので、当社にお問い合わせください。無料にて御見積もりいたします。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	80,583	71,611	89,123	75,531	82,718	87,286	102,904	99,546
受託廃棄物量	t	323	121	329	141	689	81	19	126
廃棄物排出量	t								
一般廃棄物排出量	kg	1150	1,110	985	935	915	905	980	950
産業廃棄物排出量	t	500	781	707	671	1168	310	732	672
総排水量	m ³	206	259	260	264	265	281	273	290

※購入電力の実排出係数 2018年まで 0.719 kg-CO₂/kWh 2019年より 0.691 kg-CO₂/kWh
(中国電力 H 2 5 年) (中国電力 H 2 8 年)

□環境経営目標及びその実績

項 目	年 度	基準値	2023年度	
		過去3年実績 分析から設定	(目標)	(実績/評価)
課題とチャンスの取組	—	—	課題・チャンスの取組 行動目標設定	取組み行動 実施：良
(使用電力)	kWh	14,000		9,701
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9,674	9,094 94%	6,703 計画比 74%
重機車輛燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	79,000	74,260 94%	98,179 計画比 132%
全社二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	88,674	83,354 94%	104,882 計画比 126%
水道水の削減	m ³	260	244 94%	290 計画比 119%
一般廃棄物の削減	kg	1,000	940 94%	890 計画比 95%
建設副産物のリサイクル率の向上	%	100%	95% 95%	100% 計画比 105%
化学物質の適正使用 管理	kg	未把握	取組維持活動 実施目標	取組活動 実施：良好
グリーン購入の推進	%	46	取組維持活動 実施目標	取組活動 実施：良好
環境配慮した施工提 案の推進	t	9,000	取組維持活動 実施目標	取組活動 実施：良好
環境に配慮した収集 運搬の推進	—	—	環境維持活動 実施目標	取組活動 実施：良好
地域の環境保全活動 参加	—	—	環境維持活動 実施目標	取組活動 実施：良好

□中期環境経営目標

項 目		年 度	基準値	2024年度	2025年度	2026年度
			(過去3年実績分析から)	(目標)	(目標)	(目標)
課題とチャンスの取組			—	課題とチャンスの取組 行動目標設定	課題とチャンスの取組 行動目標設定	課題とチャンスの取組 行動目標設定
(使用電力)	kWh		14,000			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		9,674	8,997	8,900	8,803
	基準年度比			93%	92%	91%
重機車両燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		79,000	73,470	72,680	71,890
	基準年度比			93%	92%	91%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		88,674	82,467	81,580	80,693
	基準年度比			93%	92%	91%
水道水の削減	m ³		260	242	239	237
	基準年度比			93%	92%	91%
一般廃棄物の削減	kg		1,000	930	920	910
	基準年度比			93%	92%	91%
建設副産物のリサイクル率の向上	%		100	95	95	95
	基準年度比			95%	95%	95%
化学物質の適正使用管理	kg	未把握		取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標
	基準年度比					
グリーン購入の推進	%		46	取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標
	基準年度比					
環境配慮した施工提案の推進		—		取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標
環境配慮した収集運搬の推進		—		取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標
地域の環境保全活動参加		—		取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標	取組維持活動 実施目標

※購入電力の実排出係数 0.691 kg-CO₂/kWh (中国電力H28)

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	①取組結果とその評価、②次年度の取組内容
課題とチャンスの取組		
・2週間工程管理の運用	○	【取組維持活動：取組運用で遅延ぎみ】 ・資格取得者は1名 ・その他取組みは、少しずつ取組み向上がある。
・工事関係者との調整（顧客/発注者及びガードマン）	○	
・残業時間の早期把握	△	
・資格取得予定表での進捗管理	○	
・社内教育の開催	△	
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	◎	・LED照明化と待機電力のカットなどの節電活動の取組みであったが計画比74%の結果であり目標達成である。特に、夏季の異常高温化や冬季の低温化での空調機電力消費が増加しているが、快適な働き環境づくりで業務効率を維持する。 ☆次年度も引き続き節電活動を継続する。 目標値の見直しは、必要なしと判断する。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・待機電力のカット（コンセント抜き）	○	
重機車輛燃料他による二酸化炭素削減		
数値目標	×	・計画比132%であり目標未達成となっているが、受注内容形態が変化しているのでデータ把握で動向を見る。 ☆次年度も削減に向けて目標達成手段は、継続する。 目標値の見直しは、今後の推移動向で判断する。
・アイドリングストップ	○	
・省エネ運転	○	
・施工の流れを良くする	○	
・過積載の防止	○	
水道水の削減		
数値目標	×	・節水活動結果として計画比119%となり目標未達成である。その主な要因は、前年度同様に施工現場用水の利用増加であり問題なしである。 ☆次年度も引き続き節水活動に取組む。特に工事用水は、必要使用量を事前確認して必要量の積み込み実施のこと。 目標値の見直しは、必要なしと判断する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・バケツ水での洗車	○	
・工事用水は必要量を事前確認済み	△	
一般廃棄物の削減		
数値目標	◎	・ゴミ排出量は890Kgであり、前年から90kg削減できている。捨てればゴミの認識が定着実践できている。 ☆次年度もコンビニごみは、社内に持帰らないようにする。 また、作業車の整理整頓でゴミを積み込まない環境取組みを定着させる。 目標値の見直しは、必要なしと判断する。
・分別での3R徹底	○	
・梱包材の再利用	○	
・コピー用紙に他産業からの端材紙の利用	○	
建設副産物のリサイクル率の向上		
数値目標	○	・産業廃棄物は、100%リサイクル処理に供している。 ☆次年度も引き続き目標達成手段は、継続する。 目標値の見直しは、必要なしと判断する。
・分別コンテナ（ボックス）の設置	○	
・工事現場での分別の徹底	○	
・リサイクル可能な処理業者への委託	○	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
化学物質の適正使用管理		
・有害性物質の表示の徹底	○	・主要な調査化学物質のSDSシートがほぼ回収できた。 ※引き続きSDSシート回収を行う。 ◆P R T R法適用化学物質使用はナシ 目標設定の見直しは、必要なしと判断する。
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・SDSシートの取寄せ確認	○	
グリーン購入の推進		
・再生材資材・品の購入	○	・引続き、エコ使用品の購入は実践できている。 ☆次年も引き続き購入品について、エコ商品を優先選択して購入する。 目標設定の見直しは、必要なしと判断する。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・事務用品のグリーン購入比率向上	○	
環境配慮した施工提案の推進		
・省資源設計	○	・環境配慮施工提案は、3件実施できた。 ・再生材資材の使用を顧客に要請する取組みは実施できている。 目標設定の見直しは、必要なしと判断する。
・再生資源の利用	○	
・低騒音/低振動型機械での施工	○	
・施工周辺部の清掃	○	
環境配慮した収集運搬の推進		
・積み込み時に騒音を立てない	○	・引続き、受託収集運搬業務では維持管理活動は実施できている。 ☆次年度も引続き受託業務遂行時には、取組み活動を実施する。 目標設定の見直しは、必要なしと判断する。
・積み忘れをしない	○	
・汚した場合は清掃を行う	○	
・休憩時等の停車時はアイドリングストップ	○	
・車両火災対応訓練を実施する	○	
地域の環境保全活動参加		
・地域清掃活動への参加	○	・地域の一斉清掃に参加できている。また、周辺道路水路清掃も実施できている。 ※引き続き地域環境活動時には、積極的に参加する。 目標設定の見直しは、必要なしと判断する。
・会社周辺道路水路の清掃	○	

□環境関連法規等の遵守状況

主な環境関連法規制等は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物（廃A s 殻、廃Con殻、木くず等）	遵守
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	遵守
オフロード法	バックフォー	遵守
騒音規制法	破碎機、空気圧縮機	遵守
振動規制法	破碎機、空気圧縮機	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機、施工機械空調機	遵守
自動車リサイクル法	車両	遵守
プラスチック資源循環促進法	発生抑制、教育周知	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、過去 8 年間当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

関連法規の遵守状況確認は、建設現場での遵守状況は安全パトロール時などでも確認して毎年実施しています。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年7月8日

エコアクション 2 1 活動の継続取組みから、社員の環境意識の認識度と取組み行動の変化により、良い風土文化が醸成されてきている。

世界情勢の激変に伴う、エネルギー/諸機材等の高騰化や世界経済の低迷の余波等の影響で地域の展望情勢は見通しがますます困難となっている。

本年度も、引続きウイズコロナ対応や酷暑の中での施工活動にも関わらず総CO2排出量は目標削減が出来ていないが、今後とも動向を注視したいので引き続き「中期計画の環境経営目標/計画/実施体制」で取組んでいく。

社内打合せ、社内パトロール（安全・環境）等を通じての自覚向上に繋がり、更に、社内コミュニケーション（朝礼/週間打合せ）も良好となり普段から自分たちで取組める環境・安全・品質活動の向上策を考えて実践することが定着できている。

今後とも、当社に見合った環境経営活動を通じて地域社会・顧客からの信頼性の向上確保に向け、社員一人ひとりが「継続的改善での脱炭素化経営（地球温暖化防止）」と当社の社会的価値向上」を目指し、環境経営活動を推進します。

更に、SGDs（持続可能な開発目標）/2050ひろしまネットゼロカーボンへの取組みの進化で社会貢献を果たしていきたい。

要 望 事 項

筋の通った目標管理で付加価値向上とCO2削減を月次ミーティングで評価・見える化でのPDCA
ループでのスパイラルアップを進める実践運用にチャレンジしてください。

・環境経営方針	■：指示なし	□：指示あり（	）
・環境経営目標/計画	■：指示なし	□：指示あり（	）
・実 施 体 制	■：指示なし	□：指示あり（	）